

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392400129		
法人名	医療法人 宏友会		
事業所名	グループホーム乙川		
所在地	愛知県半田市飯森町53-1		
自己評価作成日	平成25年1月21日	評価結果市町村受理日	平成26年5月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigvosvoCd=2392400129-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd">http://www.kaigokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigvosvoCd=2392400129-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	名古屋市東区百人町26 スクエア百人町1F		
訪問調査日	平成26年1月28日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平屋建てであり、リビングを南側に集中させ、広々としたリビングがあり、各利用者様に合わせて、生活上での残存機能の維持、向上が図れるようにしている。  
 開所して以来、食事を3食を施設内で作り、提供しており、利用者様に準備の手伝いをお願いして、これまでの培ってこられた力が少しでも発揮できるようにしている。 食事のみならず、食器拭き等の片づけや掃除、洗濯物干しなどの家事についても積極的にお手伝いして頂いている。  
 隣が医療機関であり、その医師による訪問診療が受けられ、常に連携を図り、スムーズな医療が受けられるようにしている。 歯科についても提携歯科医療機関より歯科検診や訪問診療、送迎付きの受診とその方々に合わせた対応をしている。 また、当法人の医療機関によりリハビリを必要な方または、希望のある方に提供している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成24年4月開設から、職員は事業所の業務に慣れてきて日ごろから利用者とのコミュニケーションが図れるようになったことで、トイレに誘導時、レクリエーション、外出時など利用者の残存機能を上手に活かす支援ができており、介護技術が向上しているのがうかがえる。また、日常の様子などが分かり易く記録に記載されており、記録の書き方が向上している。家族は、運営推進会議の出席や家族会の参加が多く、協力的である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の申し送り時に復唱している</li> <li>・日誌内にあり、各自でも常に携帯している</li> <li>・努力している</li> </ul>		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者に任せている</li> <li>・日常的には難しく感じる</li> <li>・中学生の職場体験学習を受け入れている</li> <li>・スタッフの知人等のボランティアの皆様に来てもらっている</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症については、看護師や主治医に相談し日常生活に活かしている</li> <li>・運営推進会議に参加してもらい助言等ももらっている</li> <li>・管理者に任せている</li> <li>・地域の人々にはあまり活かされていないようだ</li> </ul>		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に聞き、意見交換を行っている</li> <li>・会議の際、ご家族の意見を聞き、取り組むようにしている。</li> <li>・会議に参加していただき、意見等を出していただいている</li> <li>・意見交換は十分にされていると思われる</li> <li>・職員会議で、報告があった内容は検討して、サービス向上に反映している</li> </ul>		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に必ず参加していただいている</li> <li>・役所との関係作りがなされている</li> <li>・管理者に任せている。</li> <li>・管理者が窓口となり、連絡を取っている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施錠をしている場所もある。</li> <li>・全居室に窓が全開にならないストッパーを取り付けてある</li> <li>・扉があいたら音が鳴るようにしてある</li> <li>・拘束なくその人の過ごしたいようにケアを行っている</li> <li>・離設の可能性のある利用者様には見守りを行っている</li> </ul>		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に身体状況の確認をして、情報の共有をしている</li> <li>・入浴時等にチェックをしている</li> <li>・内出血等あれば、記録し、管理者に報告している</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が行っている</li> <li>・研修等で学ぶことがあった</li> <li>・研修会にて学ぶ機会があった</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が行っている</li> <li>・スタッフもマニュアルがあり、聞かれた時は説明できるようにしている</li> </ul>		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族、利用者様にお聞きしている</li> <li>・管理者が行っている</li> <li>・家族会を行い意見交換はされている。</li> <li>・管理者より職員へ話の内容を報告してもらっている</li> <li>・ご家族や運営推進会議にて意見要望を聞き、取り組んでいる。</li> </ul>		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度のミーティングにて意見交換している</li> <li>・議事録を作成している。</li> <li>・時間のある時に事務所等がスタッフの話も聞いている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価表を提出し、管理者が評価している</li> <li>・勤務や休みの希望は大体聞いていただいている</li> <li>・時々面談がある。</li> </ul>		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人研修を行っている。</li> <li>・研修を受ける機会がある</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人研修があるので、参加するようにしている</li> </ul>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく一日のうち全員に声掛けして不安にならないようにしている</li> <li>・管理者が行っている</li> <li>・お互いの関係作りには常に声かけて努力している</li> <li>・警戒心を相手がもたないような話し方をしている</li> <li>・コミュニケーションを取り、本音を言える環境に努めている</li> </ul>		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確なアセスメントを行い安心していただける環境づくりに努めている</li> <li>・ご家族からの要望、困っている事等を聞いた時には、今後支援し納得できるようにしている</li> <li>・努力している</li> <li>・要望など聞いた時にはすぐ、管理者に報告している</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けして、なるべくご本人が望んでいる事が出来るように心がけている</li> <li>・出来る範囲で行っている</li> <li>・要望に沿った支援を心がけている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に共同生活を念頭に置き、暮らしを共にする</li> <li>・気長に対応をして本人が気分良く過ごせるように努めている</li> <li>・常に同じ目線になるように話を聞くようにしている</li> <li>・利用者様が今何を思っているかを察し、本人が居心地良い場所にするように努力している</li> </ul>		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等ある際にはお伝えして参加していただけるようにしている</li> <li>・利用者様楽しく過ごせる場所を作るように心がけている。</li> <li>・来所の際には近況や要望等情報交換を行っている。</li> <li>・来所されやすい雰囲気作りに努めている</li> </ul>		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物や散歩、本人の行きたいところへ行けるように協力したい</li> <li>・利用者様の近所の方が足を運んで下さる</li> </ul>		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒にテーブルにつき、話をしている。</li> <li>・利用者様同士の関係をよく把握するようにしている</li> <li>・同じ方ばかりではなく、他の方とも交流できるようにしている</li> <li>・その日の様子で席を合わせるようにしている</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が行っている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りで細かく伝えている</li> <li>・ご本人の意見をなるべく取り入れ、スタッフで話し合っている</li> <li>・理念を思い出し、そのようになれるように努めている</li> <li>・できる限り本人の希望に沿ったケアができるように心がけている</li> <li>・ご家族やご本人から伺うことで把握している</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みの物を使っていただく</li> <li>・アセスメントやスタッフ間の情報交換で把握する</li> <li>・利用者様とのコミュニケーション、ご家族様との会話の中で把握するように心がけている</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で変調等を観察している</li> <li>・利用者様の様子に変化があれば、管理者に報告し、申し送りしている</li> <li>・状態の変化がある場合には、記録し、申し送りで、報告している</li> <li>・日々の生活の中で変わった事が無いか注意している。</li> </ul>		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントとスタッフの意見を基に介護計画を作成している</li> <li>・利用者様の得意とすることをよく知り、生活に活かす計画づくりに協力する。</li> <li>・申し送りやミーティングでスタッフ間の情報を共有している</li> <li>・変化があった場合は、記録に記入し、報告するようにしている</li> </ul>		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の内容はカルテに記入している</li> <li>・記録や申し送りにて情報の収集をしているその日の様子や出来事をカルテに記入するように心掛けている</li> <li>・個人カルテに気づいたことは細かく記録に記入している。</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態に合わせた支援ができるよう取り組んでいる</li> <li>・一人ひとりの体調に合わせて、対応している</li> <li>・常に何事も柔軟な体制で構えて取り組んでいる</li> <li>・出張理美容を取り入れている</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者に任せている</li> <li>・把握が難しい</li> </ul>		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週に一度、訪問診療をしている</li> <li>・病院に受診されることもある</li> <li>・訪問看護ステーションとも連携をしている</li> <li>・ご本人やご家族の方が、希望する病院へ受診されている</li> </ul>		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーションとの連携に情報提供受けられる。</li> <li>・管理者が行っている常に連絡が取れるようにしている</li> <li>・訪問看護ステーションの職員を情報を共有している</li> <li>・訪問看護ステーションの職員と相談できる</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が行っている</li> <li>・病院関係者と連携を取っている関係作りはしっかりされている様子</li> <li>・連携がきちんとできている</li> </ul>		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が行っている</li> <li>・事前にご家族からの意向も伺っている</li> <li>・利用者様の体調も日に日に低下されることもあり、ターミナルケアに取り組むにあたり、少しずつ勉強もしている</li> <li>・ご家族の意向をカルテに記載し、職員間に共有している</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング内で話を聞いている</li> <li>・もう少し話や訓練が出来たらいいなと思う</li> <li>・急変時の連絡はマニュアルに沿って行う</li> </ul>		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練等も定期的に行っている</li> </ul>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様一人ひとり合わせた言葉遣いをして敬う気持ちを持ち接するように努力している</li> <li>・研修があって接遇の勉強をした</li> <li>・言葉遣いに気を付けている</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り希望に沿うことで意志を表せる配慮が十分ではないかもしれない</li> <li>・小さなサインを見逃さないようにしたい</li> <li>・うまく言葉で表せない気利用者様には気持ちを汲みとるようにしている</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様一人ひとりのペースを大切にしている</li> <li>・業務を優先させる場合がある</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りご本人出されている</li> <li>・出張美容や毎日の身だしなみに気を配っている</li> <li>・着替えの時には選んでいただけるよう声掛けしている。</li> <li>・服を選ぶことができない方には、「こんな素敵な服があるから着ましょう」とお誘いしている。</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のペースで召し上がっている</li> <li>・お手伝いができる方はお願いしている</li> <li>・利用者様にお手伝いいただいている。</li> <li>・手作りおやつ等を行っていきたい</li> </ul>		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事量や水分量のチェックをしている</li> <li>・栄養不足の方には高カロリーなものを用意してもらい、召し上がってもらう</li> <li>・食べやすいよう工夫している</li> <li>・食べやすい大きさや量を調節し、水分が不足している時は摂取できるもので摂っていただく</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後口腔ケアを行いチェック表に記入している。</li> <li>・歯科の訪問を受けている</li> <li>・なるべく自己にて歯磨きやうがいをしていただく</li> </ul>		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に声掛けして介助させていただく</li> <li>・ご本人のサインに気を配りトイレ誘導を行っている</li> <li>・失敗されないようなお手伝いをしている</li> <li>・排泄表を確認しながらお誘いしている。</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬で調整している方もいる</li> <li>・水分食事に注意している</li> <li>・運動が十分ではない</li> <li>・便秘が続く倍には管理者に相談して対処する</li> </ul>		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り入れるように声掛けしている</li> <li>・拒否の強い利用者様にも時間を空けるなどして声掛けをしている</li> <li>・できる限り2日に一度は入浴していただいている</li> <li>・楽しんで頂けるように音楽を流したり入浴剤おいたりしている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や希望に応じて休んでいただいている</li> <li>・シーツの交換をまめに行っている</li> <li>・一番良い時間に休んでいただけるように声掛けをしている</li> <li>・利用者様の好きな時間に就寝していただいている</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤情報に目を通して、変更は申し送り等で確認する</li> <li>・カルテ内に薬剤情報があり、いつでも確認できるようになっている</li> <li>・薬の内服時は日付名前を確認するように心がけている</li> <li>・その時決まった担当者が責任を持って行う</li> <li>・間違いが無いように2人でチェックしている</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる方には家事などをお手伝いしてもらっている</li> <li>・買い物に出かけられるようにしている</li> <li>・カラオケや季節行事を取り組んでいる</li> <li>・無理のない範囲でお手伝いをお願いしている</li> </ul>		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で外出がなかなか難しい</li> <li>・少人数で行けると用と思う</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない</li> <li>・外出時に好きなように買い物している</li> <li>・管理者が行っている</li> <li>・購入したいものがある時はお話を伺い、管理者が対応している</li> <li>・個別で自己管理をしている方もいる</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望があればホームの電話を使用して電話されることもある ・自己にて携帯電話を使用されている方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・フロアは日のあたりが良いところにある ・天気の良い日には照明を調節している。 ・季節感を取り入れた飾りをしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファ等に自由にくつろげるように配慮している リビング内の模様替えをしたり、気分が変わるようにしている ・壁に作品を張り付けたり写真を飾ったりしている ・自室で過ごされる方には何度か声掛けをするように心がけている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・写真などご家族の方が見えた時には飾って下さっている ・若いころの写真を飾っている方も見える ・家具などの配置は利用者様が使用しやすいようにしている ・ご家族写真やお持ちいただいたものを飾っている ・利用者様の行動に応じてレイアウトしている ・ご自宅で使用されていたものを持ちこんで心地よい空間を作られている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・なるべく自立を促し、待つ介護をしている ・居室には名前入りの写真が飾ってある		